



オブジェとなった工場時代の仕込釜

最後に
このプロジェクトでは、事業推進プラットフォームづくりを大切にすることに、公共団体と民間事業者が相互協力体制の下、コンセプトを共有し、ひとつのテーマで計画調整ができ、非常にスピード感のある高品質なまちづくりが実現しました。このプラットフォームによる総合的な調整の結果、官民一体で地区全体の緑の景観形成、維持管理のための仕組みづくりが行われた事が評価され、2006年彩の国景観賞「たてもの・まちなみ部門」、2007年都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」を受賞しました。これからもリボンシティがますます人々に愛されるまちになることを願っています。

その後、参画する民間事業者と共に、「魅力あるまちの実現のためのルールづくりや円滑な事業推進のためのスケジュール調整」を目的とした事業者協議会を設立しました。また、事業者協議会の中に設置された工事連絡協議会では、工事施工者も参加し、各事業者の輻輳する工事の総合的調整を行い、円滑な工事進捗を実現しました。



1 情報サービス施設が充実 アリオ川口



2 分譲集合住宅 リボンシティレジデンス



3 整然としたまちなみを形成 戸建住宅ゾーン



4 整然とした並木のアクティブモール(歩行者道)



5 市民交流の場となった 川口市立アートギャラリー・アトリア



6 噴水と戯れる子どもたち 並木元町公園



左: 7 賃貸住宅街区 リボンシティコミュニティ
右: 8 フィットネスクラブ パル川口



9 レストラン ジョー・パンチェッタ

都市再生コーディネートの実践

リボンシティ(川口並木元町地区)の試み

平成14年秋、80年の歴史を持ち川口市民から親しまれてきたサッポロビール(株)埼玉工場の閉鎖発表に伴い、UR都市機構は、民間を都市再生に誘導する「官民パートナーシップ」のコーディネーターとしての位置づけのもと、サッポロビール(株)からコーディネートを受託しました。

当地区は、川口市の都心に位置し、大規模な土地利用転換であることから、「都市再生及び地域活性化に寄与し、市民に親しまれる文化性の高い良好な市街地形成」を目指し、「川口市の都市部における『まち歩き』が楽しい新しい都心空間の実現」を基本コンセプトとして計画を進めていきました。そして、3年半後の平成18年4月1日、リボンシティとしてまちびらきを迎えました。



地区概要

所在地	埼玉県川口市並木元町1-1ほか
敷地面積	約11.8ha
用途地域	準工業地域(容積率:200% 建ぺい率:60%) 特別工業地区、準防火地域
交通	JR京浜東北線川口駅の北東約800m 県道川口上尾線(通称・産業道路)に接道

開発計画の概要

リボンシティは、基本コンセプトをもとに、公共空間においては、街の骨格となる「アクティブモール(メインストリート・歩行者道)」を東西方向・南北方向に配置、民間敷地内にも道路と同じ植栽を列植するなど景観形式に努め、併せて、市民の憩いの場となる1haの「アートパーク(並木元町公園)」を整備しています。事業後も良好な環境が維持されるよう事業者提案型の地区計画制度や並木の維持管理のための緑化協定も導入しました。民間施設としては、専門店・スーパーマーケット・シネマコンプレックスから

なる商業施設街区、868戸のマンションからなる分譲住宅街区と34区画の戸建住宅街区、賃貸住宅街区、フィットネスクラブ及びレストラン街区により複合都市が構成されています。また、アートパーク内には、アートギャラリー・アトリアが、市民の芸術活動の拠点としてオープン、ワークショップや企画展示など様々なイベントが行われています。

都市再生コーディネートの取り組み

リボンシティの開発において、UR都市機構は、民間を都市再生に誘導するた

事業推進プラットフォーム

リボンシティでのコーディネートにおいて大切にしたのは、プロジェクトの進捗状況に応じた関係者とのプラットフォーム(協議の場)づくりです。

プロジェクトのスタート時点では、埼玉県、川口市及びUR都市機構による意見交換会や、学識経験者を交えた委員会で、関係者のニーズや地域の課題をもとに「開発計画の方向性」について協議・提案をいただきました。これをもとに基本合意を得て、サッポロビール(株)、川口市、UR都市機構が開発に係る覚書を交換するとともに、全体開発やスケジュール調整などプロジェクトの円滑な推進を目的に三者協議会を立ち上げました。

め、コーディネーターや基盤整備等を中心に、土地所有者、公共団体、民間事業者との適切な役割分担のもと事業推進に取り組みました。「初期期コーディネーター」では、土地利用計画、開発条件、開発スケジュールの早期確定を行い、「事業段階コーディネーター」では、事業者間の工程調整、インフラ整備条件の整理、景観調整など良好な計画誘導の役割を担いました。「基盤整備」としては、道路、街区公園等の整備とともに、関連公共施設整備直接施行制度により近隣公園を整備しました。また、「賃貸住宅供給支援」として民間供給支援型賃貸住宅制度を活用しています。

「初動期コーディネーター」では、土地利用計画、開発条件、開発スケジュールの早期確定を行い、「事業段階コーディネーター」では、事業者間の工程調整、インフラ整備条件の整理、景観調整など良好な計画誘導の役割を担いました。「基盤整備」としては、道路、街区公園等の整備とともに、関連公共施設整備直接施行制度により近隣公園を整備しました。また、「賃貸住宅供給支援」として民間供給支援型賃貸住宅制度を活用しています。



リボンシティのロゴをイメージしたアートベンチ(並木元町公園内)



「これらことから、リボンシティ」と名付けられました。

リボンシティ愛称の由来

サッポロビール(株)の清涼飲料水のキャラクター「リボンちゃん」
ビール工場跡地を魅力的な複合都市に再生 Rebornする
地区内を縦横に走るアクティブモールが、人、自然、街などを結びつける



リボンシティの中核 アリオ川口